

【管内の感染症の発生状況等について】

- 管内の新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の定点当たり報告数はほぼ横ばいで、第24週では0.50でした。また、管内のインフルエンザ定点当たり報告数は低い値で推移しており、第24週では0となっています。（管内の定点当たり報告数は別表グラフを併せてご覧ください。）
- 管内の感染性胃腸炎の定点当たり報告数は第24週に6.75となり、減少傾向にありますがいまだ高い値で推移しております。県内では施設等における感染性胃腸炎の集団発生報告が続いており、注意が必要です。
- 伝染性紅斑の定点当たり報告数が過去5年間と比較し高い値で推移しています。管内でも高い値で推移しており、県内では4月24日付で流行警報が発令されているため、今後も動向に注意が必要です。
- 主な感染症の定点当たり報告数

報告週	COVID-19		インフルエンザ		水痘		感染性胃腸炎		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		伝染性紅斑	
	管内	茨城県	管内	茨城県	管内	茨城県	管内	茨城県	管内	茨城県	管内	茨城県
20週 (5/12~5/18)	0.30	0.87	0.40	0.62	0.50	0.45	9.00	6.26	1.75	5.89	3.25	3.55
21週 (5/19~5/25)	0.30	1.25	0.10	0.31	0.75	0.50	8.00	5.29	0.50	5.45	3.00	3.13
22週 (5/26~6/1)	0.10	0.99	0.30	0.29	1.00	0.45	6.75	5.53	1.50	5.13	4.50	2.87
23週 (6/2~6/8)	0.30	1.24	0	0.16	0	0.37	8.00	5.55	1.25	6.61	3.50	3.79
24週 (6/9~6/15)	0.50	1.03	0	0.16	0.50	0.42	6.75	5.89	1.25	5.58	5.50	3.34

○ 全数把握感染症の発生届（管内）

報告週	二類感染症	三類感染症	四類感染症	五類感染症
20週 (5/12~5/18)		腸管出血性大腸菌感染症 1件		百日咳 6件
21週 (5/19~5/25)				百日咳 7件
22週 (5/26~6/1)				百日咳 13件 アメーバ赤痢 1件
23週 (6/2~6/8)	結核 2件		レジオネラ症 2件	百日咳 10件 梅毒1件
24週 (6/9~6/15)				百日咳 17件 梅毒 1件

★茨城県感染症流行情報週報（2025年第24週）

<https://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/eiken/idwr/weekly/documents/2025idwr24.pdf>

★茨城県感染症流行情報月報（2025年5月号）

<https://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/eiken/idwr/std/documents/2025mrp05.pdf>

★茨城県衛生研究所における病原体検出情報（2025年4月号）

<https://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/eiken/kikaku/microbe/documents/202504kensyutu.pdf>

★インフルエンザ流行情報（2024-2025シーズン）

<https://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/eiken/idwr/influenza/2024-2025.html#gakkyuuheisa>

★茨城県感染症発生動向調査事業年報（2023年）

<https://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/eiken/idwr/2023nenpou.html>

【百日咳について】

- 県内では百日咳の発生が増加しており、特に中高生の間で感染拡大がみられております。
百日咳は、百日咳菌（Bordetella pertussis）によって起こる急性気道感染症です。乳児期早期から罹患する可能性があり、特に生後6カ月未満の乳児では重症化しやすく、まれに死に至ることもある疾患です。
予防には、ワクチン接種が有効です。また、手洗い、マスク着用、咳エチケットなどの基本的な感染対策も重要です。
- 百日咳の治療には、マクロライド系抗菌薬を第一選択薬として用いることが推奨されていますが、近年、マクロライド耐性百日咳菌の出現が問題視されており、本県においても、2024年に1例、2025年に3例、マクロライド耐性百日咳菌感染症例が確認されております。

★ 百日咳の報告数が増加しています（茨城県感染症情報センター）

<https://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/eiken/kikaku/kikaku/hyakunitiseki.html>

★ 5種混合ワクチン（厚生労働省）

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/yobou-sesshu/vaccine/dpt-ipv-hib/index.html

【はしか（麻疹）について】

- 今年県内のはしか患者の報告が22件あり、全国的にも過去の動向を大きく上回る発生が続いています。
はしかは空気・飛沫・接触感染する、感染力が極めて強い感染症です。最も有効な予防方法はワクチン接種であり、2回の接種で約99%の方が抗体（免疫）をもつことができるとされています。母子手帳でワクチン接種歴を確認し、必要に応じてワクチン接種を検討しましょう。
- 医療機関におかれましては、発熱や発疹を呈する患者が受診した際は、麻疹予防接種歴や海外渡航歴の確認等、はしかの発生を意識した診療を行っていただくとともに、はしかが疑われる患者を把握した場合には、院内での感染対策に配慮しつつ保健所へご相談いただきますようお願いいたします。

★ はしか（麻疹）に注意しましょう（茨城県感染症情報センター）

<https://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/eiken/kikaku/measles2.html>

★ MRワクチン（厚生労働省）

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/yobou-sesshu/vaccine/mr/index.html

★ 【事務連絡】麻疹及び風しんの定期の予防接種に係る対応について（厚生労働省）

<https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/001440529.pdf>

【HIV検査普及週間について】

- 毎年6月1日から7日は、厚生労働省によりHIV検査普及週間と定められ、今年度においても各地で普及啓発イベント等が実施されました。

筑西保健所では、毎月水曜日に事前予約制で性感染症検査を実施しております。差別や偏見をなくし、その他の性感染症を含め、感染症に対する予防・対応方法について正しい知識を持つことが大切です。

★HIV/エイズの基礎知識（公益財団法人エイズ予防財団）

https://www.jfap.or.jp/enlightenment/pdf/202310_pamph_hp.pdf

★「RED RIBBON LIVE」オフィシャルサイト（HIV/エイズ啓発動画や、過去のイベントにて披露されたコンテンツ等が掲載されています。）

<http://redribbonlive.net/>

★性感染症・肝炎検査について（事前予約制）

<https://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/chikuho/hoken/shimohc/sodan/sodan-aids.html>